

令和7年度とうきょうすくわくプログラム実践報告書

所在	町田市南成瀬4-10-4
園名	成瀬なかよし保育園

1・活動のテーマ

<テーマ>

光と色

<テーマの設定理由>

園庭で遊ぶ中で、保育者の影を追いかけたり、太陽の光で影ができることに気づいたりする姿が見られた。室内でも光の反射に手を伸ばして楽しむ様子があった。日頃から光や影、色の違いに関心をもつ姿が見られることから、その興味をさらに広げていきたいと考え、テーマを「光と色」に設定した。

2・活動スケジュール

4・5月 光と影に出会う	11月 色眼鏡を作って探検
6月 ライトテーブルと懐中電灯	12月 クリスマスツリー作り
7月 寒天遊び	1月 ウォーターマット、センサリーバック
8月 色付き氷	2月 アクアリウム
9月 蛍光塗料で遊ぼう	3月 蛍光塗料で遊ぼう
10月 色水をライトで照らしてみよう	

3・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ライトテーブル、懐中電灯、ブラックライト
- ・蛍光塗料、指絵具や水彩絵の具など数種類の絵具、筆など
- ・クレヨン、模造紙、画用紙、容器などの材料
- ・カラーセロファンやボンド、のり、寒天、春雨などの材料

4・探究活動の実践

<活動の内容>

活動テーマ「光と色」のもと、こどもたちの気づきを出発点に探究活動を行う。
ライトテーブルや色付き氷、蛍光塗料などの素材を用い、光に照らされたときの色の変化や反射の様子を体験する。こどもたちは自ら素材に関わり、光の当て方や見る角度を試しながら変化を楽しむ。気づいたことをともだちに伝えようとする中で、さらに試そうとする姿も生まれていた。主体的に関わりながら、光や色の不思議さに目を向け、探究しようとする姿を育み、遊びを広げていく。

<活動中の子供の姿・声・子供同士や保育者との関わり>

絵具が苦手な子も、様々な道具に興味を示し自分で持って模造紙に描く姿が見られた。色が付いたことを喜び、「きれい」と保育者に伝えようとする。描きながら色の名称を言葉にして、ともだちと関わりながら楽しんでいた。蛍光塗料が乾き、ブラックライトで照らしたとき、こどもたちは嬉しそうに声をあげていた。ライトを当てたり、ずらしたりして光の反射の違いを見比べては保育者やともだちに「見てみて」と声をかけていた。色が付いているところが光ことが不思議なようで、何度も試していた。



5・振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

絵具遊びでは道具を 4 種類用意したことで、様々な色に興味を持ち、自由に描くことや色が付くことを楽しめていた。手や足にも色を付けるなど、広いスペースで存分に絵具遊びができるように配慮した。またライトも複数用意したことにより蛍光塗料がどのように光るか、ライトを使用したときとの変化を主体的に探究することができた。